



ArtemiS SUITE
Project

Code 50500

APR 500 主観評価試験 - SQala Basic

ArtemiS SUITEの主観評価試験 - SQala Basicは、モジュール構成のSQala ソフトウェアの中核となる基本モジュールです。SQala Basicを使用すると、主観評価試験のシナリオを作成し、ローカルセッションとして主観評価試験を実施できます。ASP 501およびASP 502は、リスニングスタジオおよび分散環境で実施する主観評価試験に対応しています。

OVERVIEW

APR 500 主観評価試験 - SQala Basic Code 50500

主観評価試験 - SQala Basicは、SQalaの基盤となるモジュールであり、主観評価試験シナリオを体系的かつ直感的に作成できる環境を提供します。本プロジェクトでは、モダンで分かりやすく整理されたレイアウトを採用しており、シンプルな主観評価試験から複雑な主観評価試験まで、短時間で簡単に作成できます。また、作成した主観評価試験は、用途に応じてカスタマイズ、保存、および再利用することができます。

SQalaを使用することで、主観評価試験の実施および評価に必要な時間と労力が大幅に削減されます。



特徴

主観評価試験を作成し、各参加者に対して試験を実施

- › 分かりやすく整理されたユーザーインターフェース
- › 複雑な主観評価試験を短時間で作成
- › モダンで機能的なページデザイン
- › 柔軟なデザインのカスタマイズ
- › 以下の各種主観評価試験に対応:
 - › カテゴリ評価
 - › 同時カテゴリ評価
 - › ランキング付き同時カテゴリ評価
 - › SD法
 - › 一対比較法
 - › 多属性一対比較法
 - › 順位法

主観評価試験シナリオ:

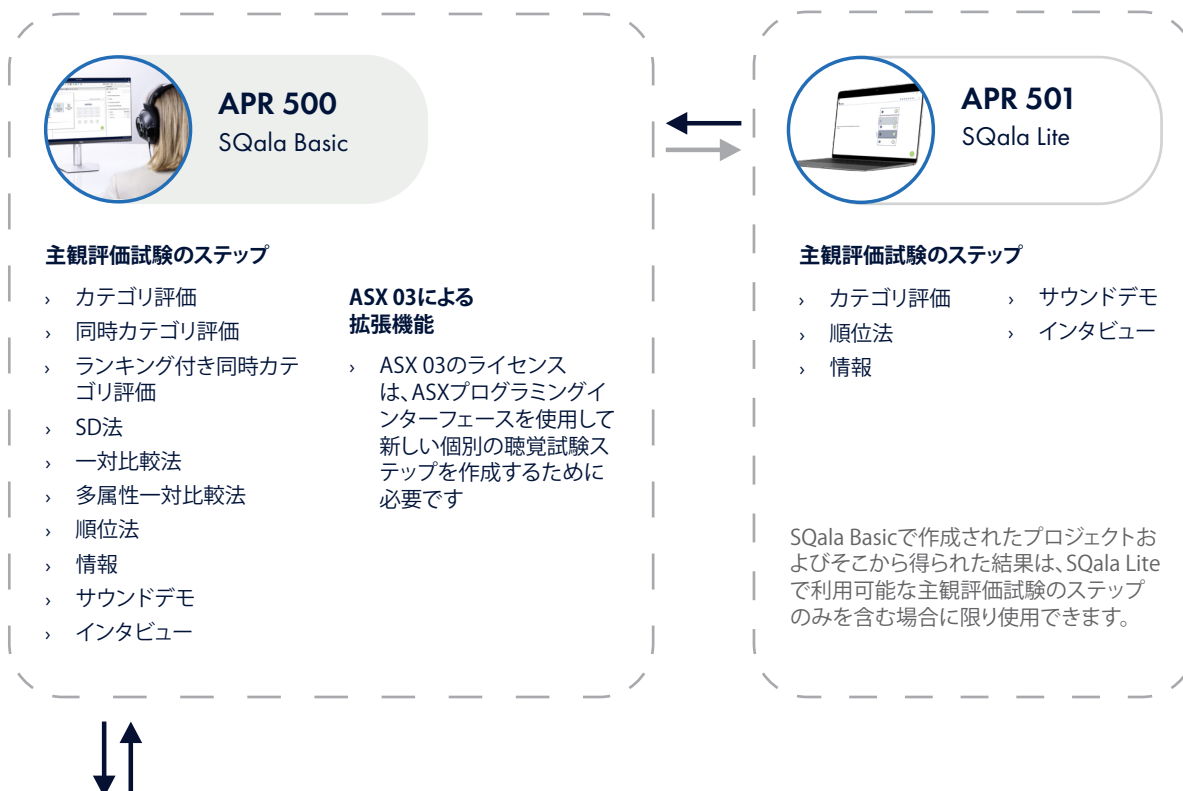
- › 個々の被験者を対象とした主観評価試験（ローカルセッション）に対応
- › 複数の被験者によるリスニングスタジオでの主観評価試験（個別モードまたはグループモード）や、分散セッションを実施するには、SQala Basic に加えて SQala Net (ASP 501) および SQala Server (ASP 502) が必要です。
- › SQala Lite (APR 501) は、個々の被験者を対象とした主観評価試験向けに、機能を限定したコストパフォーマンスに優れたソリューションとして提供されています。

適用例

- › ベンチマーク
- › ターゲットサウンドの定義
- › 製品音の最適化



個々の被験者を対象としたリスニングテスト(ローカルセッション)の作成と実施



リスニングスタジオセッション(個別モードまたはグループモード)や分散セッションでの複数被験者による主観評価試験の実施



DETAILS

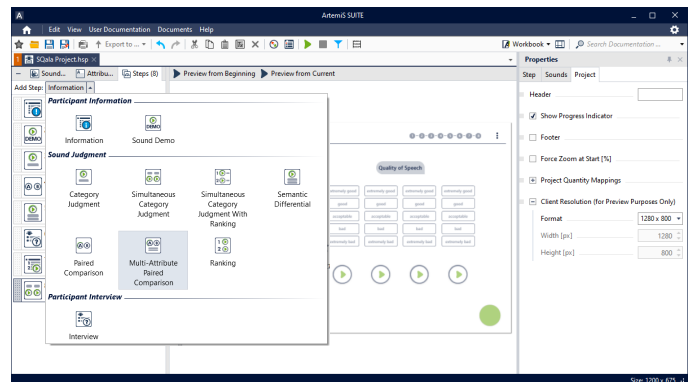
主観評価試験の作成と実施

SQala Basicは、統一感のある機能的なページレイアウトを備えており、短時間でリスニングテスト全体を作成できます。各主観評価試験のステップは、用途に応じて自由に組み合わせることができ、直感的な操作で順番に構成しながら主観評価試験を作成できます。これにより、複雑な主観評価試験でも、迅速かつ確実に作成できます。

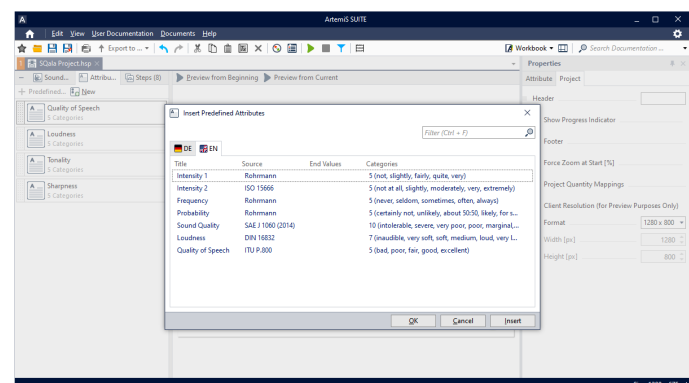
主観評価試験のステップ

あらかじめ用意された複数の主観評価試験ステップを利用することで、わずか数回のクリックで目的に応じた主観評価試験を作成できます。:

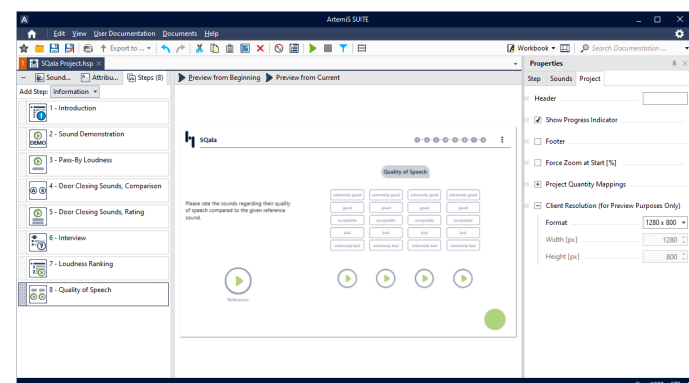
- 情報
 - 参加者への指示またはその他の情報
- サウンドデモ
 - 例えば、極端な音や音の全周波数帯域を再生
- カテゴリ評価
 - 一つの属性に基づく音の評価
- 同時カテゴリ評価
 - 一つの属性に基づいて複数の音を同時に評価する
- 順位付け同時カテゴリ評価
 - 複数の音を1つの評価属性に基づいて任意の順序に並べ替え
- セマンティック・ディファレンシャル
 - 1つ以上の評価属性に基づいて音を比較
- 一対比較法



適切なレイアウトを決定するために、さまざまな主観評価試験ステップからページを選択し、さらにカスタマイズすることができます。



評価属性を素早く設定するためのさまざまなオプションがあります。また、手動での処理も可能です。



主観評価試験ステップ

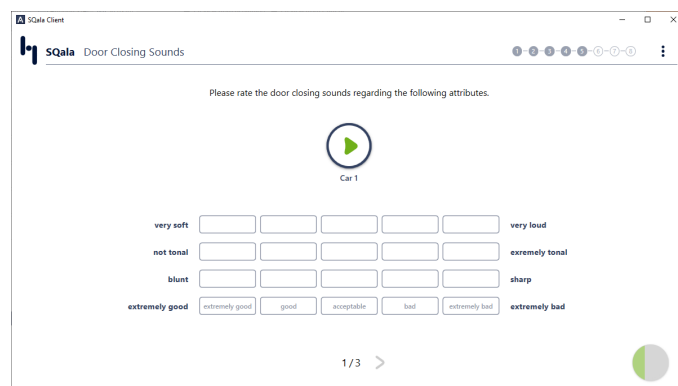
- 1つの評価属性に基づいて、2つの音を比較
- 多属性一対比較法
 - 複数の評価属性に基づいて、2つの音を比較・評価
- 順位法
 - 指示に従って、複数の音を任意の順序に並べ替え
- インタビュー
 - 主観評価試験中に、被験者から必要に応じて情報の入力を求めることができます。
- 独自の主観評価試験ステップを作成
 - ASX 03 SQala Extension APIを使用して、新しい主観評価試験ステップを開発できます (ASX 03のライセンスが必要です。SQalaのローカルセッションでのみ利用可能)。
 - 開発した主観評価試験ステップを、SQalaの主観評価試験へシームレスに組み込むことができます。

プレビュー

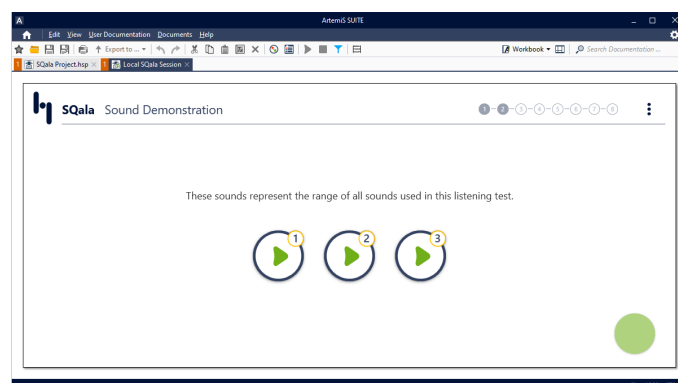
プレビューには、被験者に表示される主観評価試験の最新の状態が常に表示されます。これは、ページ数だけでなく、レイアウトについても同様です。

ローカルモードでの主観評価試験の実施

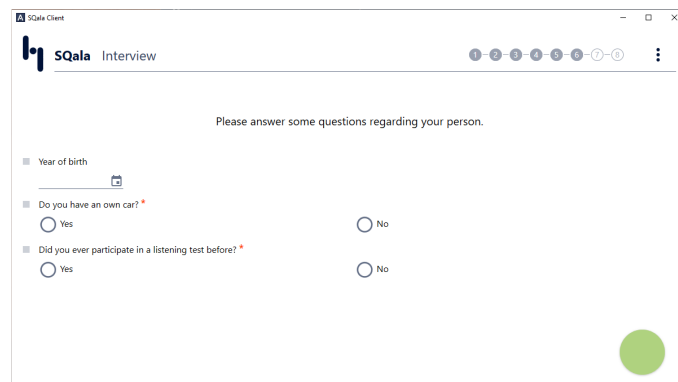
SQalaプロジェクトをローカルモードですぐに開き、複数の被験者



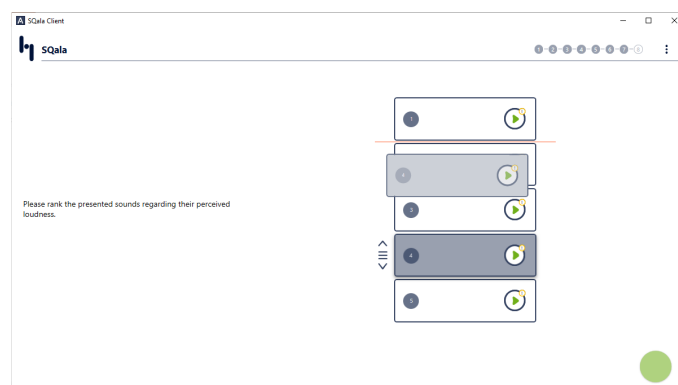
プレビュー：主観評価試験の例



ローカルモードでのサウンドデモンストレーション



主観評価試験ステップ：インタビュー



主観評価試験ステップ：順位法

に対する主観評価試験を順次実施できます。

SQala NetとSQala Server

SQala Project を、リスニングスタジオで複数の被験者が同時に利用する場合（個別モードまたはグループモード）、あるいは分散セッションで利用する場合は、SQala Net (ASP 501) およびSQala Server (ASP 502) が必要です。

SQala Lite

SQala Lite (APR 501) は、SQala Basicの機能を絞ったコストパフォーマンスに優れた代替製品です。個々の被験者を対象とした主観評価試験（Sqalaローカルセッション）を、簡単かつ短時間で作成・実施できます。

独自の主観評価試験ステップの作成： SQala Extension API (ASX 03)

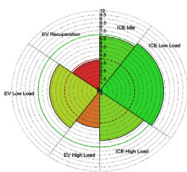
ASX 03プログラミングインターフェースを使用すると、C#および.NET Frameworkを用いて独自の主観評価試験ステップを開発し、SQalaの主観評価試験へ組み込むことができます。作成した独自の主観評価試験ステップは、SQalaの主観評価試験にシームレスに統合されます。また、新たに作成した主観評価試験ステップも、標準の主観評価試験ステップと同じ操作・制御機能を利用できます。

ASX 03には、詳細なドキュメントに加え、さまざまなサンプル、実践的なサンプルアプリケーション、プログラミングリファレンスが含まれており、新しい主観評価試験ステップを容易に開発できます。

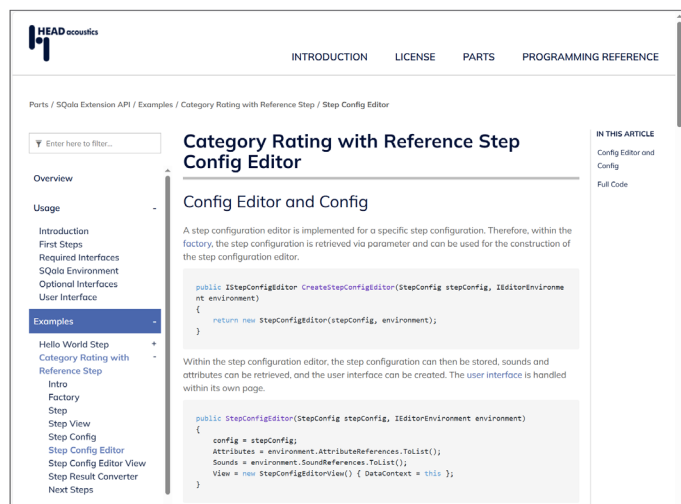
現時点では、独自に作成した主観評価試験ステップを使用した主観評価試験は、ローカルモードでのみ実施可能です。リスニングスタジオや分散セッションでは利用できません。

音質メトリクスのSQala試験結果の評価

SQalaプロジェクトのXML結果ファイルは、メトリックプロジェクトに直接取り込むことができます（APR 570が必要です）。また、カテゴリ評価、SD法、および同時カテゴリ評価の各主観評価試験ステップについて、どの評価項目（ステップまたは評価属性）をメトリクスの計算対象とするかを選択できます。



SQalaとメトリックプロジェクトを緊密に連携させることで、時間とコストを要する主観評価試験テストの結果を、再現性が高く定量的な解析結果として表現できます。



ASX のドキュメントには、SQala用の新しい主観評価試験ステップの開発方法を、さまざまなプログラミング例を用いて分かりやすく解説しています。



例えば、labP2再生モジュールを使用することで、元の音のスペクトルや音場の空間分布を忠実に再現できます。また、labP2 はカスケード接続に対応しており、リスニングスタジオでの使用にも適しています。

高精度なバイノーラル再生を実現する HEAD acousticsの再生デバイス

推奨ヘッドホンを、適切な再生システムおよび最適なイコライゼーションと組み合わせることで、聴感に忠実なバイノーラル再生を実現し、信頼性の高い音質評価と最適化を行うことができます。そのため、HEAD acousticsは、SQalaに最適化された再生モジュールとイコライゼーション済みヘッドホンを、一貫したソリューションとして提供しています。

ライセンスとオプション

一般要件

コード	製品名	機能説明
50000	APR 000 APR フレームワーク	ArtemiS SUITE基本モジュール
50500	APR 500 主観評価試験 – SQala Basic	主観評価試験を簡単かつ迅速に作成し、ローカルセッションで実施

オプション (推奨されるSQalaオプション)

コード	製品名	機能説明
51501	ASP 501 主観評価試験 – SQala Net	SQalaセッション管理:リスニングスタジオ (個別モードまたはグループモード) および分散セッションにおける、複数の被験者を対象とした主観評価試験テストの監視・制御
51502	ASP 502 主観評価試験 – SQala Server	SQala サーバーマネージャ:リスニングスタジオ (個別モードまたはグループモード) および分散セッションにおける、複数の被験者を対象とした主観評価試験テストの管理・実施

オプション (SQala Basicの代替製品)

コード	製品名	機能説明
50501	APR 501 主観評価試験 – SQala Lite	機能を限定することでコストパフォーマンスを高めた SQala Basic の代替製品で、必要に応じて SQala Basic へアップグレード可能

オプション (ArtemiS SUITE 推奨ツール)

コード	製品名	機能説明
50570	APR 570 メトリックプロジェクト	SQalaプロジェクトの評価結果に基づく音質メトリクスの生成

5090	ASX 03 SQala Extension API	SQala Basic用の新しい主観評価試験ステップ作成のためのプログラミングインターフェース
------	-------------------------------	---

ArtemiS SUITE には、信号の生成・結合・編集に加え、分析や各種信号処理を行うための各種ツール (APR および ASP) が用意されています。



連絡先

〒240-0005
神奈川県横浜市保土ケ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク ウエストタワー8F
電話: +81 45 340-2236
Eメール: headjapan@head-acoustics.com
ウェブサイト: www.head-acoustics.com/jp